

株式会社フジイ

企業概要

○所在地:兵庫県糸島市山崎町下牧谷57-1 ○TEL:0790-64-7520 ○設立:平成1年10月31日 ○代表者:代表取締役 藤井 哲郎
○従業員数:34人(平成30年6月現在) ○資本金:2,000万円 ○E-mail:info@f-gallery88.jp ○HP:http://www.f-gallery88.jp/
●事業内容:木工収納家具(サイズオーダー、特注品含む)の製造販売
●主要生産設備:パネルソー4台、縁貼り機4台、NCボーリングマシン4台、ボディプレス2台

事業計画名

今までにないオーダー家具の生産体制の構築と生活を豊かに彩るブランドの確立



住環境においてこだわりを持つ消費者に対して「家具がすきまに合わせる」という発想で創った収納家具「すきまくん」(幅もしくは高さの1方向のオーダーが可能)の上位ブランド「すきまくん3D」(幅・高さ・奥行の3方向のオーダーが可能)の開発と生産体制の構築を目指します。

取り組みの背景

当社では、従来は住宅メーカー向けの据え付け収納家具(下駄箱等)や家具店向け収納家具の見込み生産を行っていた。大手住宅メーカーや家具店の見込み生産では、ロットは大きく安定した売り上げが確保しやすいが、反面収益性が著しく低いということがあった。そこで当社ではデザインにもこだわりつつ、作り付け家具のように住宅等の壁面にフィットするサイズオーダー家具(すきまくん)の企画・開発を行った。「すきまくん」は受注生産品であるため在庫リスクは大幅に低下、収益性も改善した。また大手小売店に専門コーナーを作るなど好調ではあるが、ブランディング強化のためにさらなる高付加価値化を求めている。またサイズオーダー家具は単価は高いものの、1品ずつ生産機械の設定変更が必要であり、従来の大ロット生産工程では生産性を向上させることができず、1点流しのサイズオーダー品に対応した生産性向上策を求められていた。

取り組みの目標

- 新商品の企画・開発
- 機械加工ミスの削減
- 工程レイアウトや部材の流し方を工夫し効率化を実現
- 最新のエッジバンディングマシンによる製品品質の向上

取り組みの内容

木材を切断した面(木口)の処理について、通常では0.5mm厚のエッジテープ又は2mm厚のローカン貼りを実施している。現行の縁貼り機で貼ると、テープとパネルの間に接着用の糊の層ができ、時間が経つと糊の層が黒ずみ、見た目の品質を著しく低下させてしまう。高品質な海外製家具ではこのような品質の低下が生じることはなく、当社では高品質なシステムキッチンの横においても見劣りしない家具製造を目標にしており、木口の仕上げ品質向上を目指していた。また現在は幅又は高さのオーダーのみを受け付けしているが、生産設備の刷新や工程の効率化により生産性を向上させ、幅、高さ、奥行きすべての変更可能な製品の製造を目指しており、そのなかで生産設備のネットワーク化を進める必要性を感じている。今回はHOMAG社のエッジバンディングマシン「KAL370 Ambition2474/airTec」を導入することで、木口仕上げの高品質化と、リードタイム短縮、使用材料の削減によるコストダウンを実現させる。さらにネット接続可能な本生産設備の導入により、前後の機械とネットワーク接続させ、さらなる生産性向上を図るための一端となるものである。

同社の強み

- ・全国のお客様に提供できる販売・物流体制
- ・カイゼン思考で生産効率を常に追求できる社内体制
- ・受注生産主体へシフトしたことにより在庫リスクを削減、高収益化の実現

ポイント

自社製品だからできる細部へのこだわり



【エッジバンディングマシン「KAL370 Ambition2474/airTec」】 【木口の仕上げ(左)本取組の設備使用、(右)従来の設備使用】

今回の事業により、木口の仕上げ品質が向上した(写真参照)。比較をするとわかりやすいが、一般消費者がある一つの製品のみを見て、木口の仕上げの良し悪しを評価することは少ない。故に設備導入が即単価向上へは繋がりにくい。特にOEM生産においては、顧客の要求品質を上回った範囲を価格へ添加することは困難である。当社では自社ブランド(すきまくん)で販売している製品が多いため、品質の向上とオーダー範囲の拡大を新商品に反映することにより、ある程度価格にも反映することが可能となっている。自社製品ならではのこだわりの品質を追求し、実現させることで、高品質家具としての新たな「すきまくん」ブランドの確立を目指している。

継続的なカイゼン活動の実施



【自社製のリターンシステム(エッジバンディングマシンに接続)】

社長の声



株式会社フジイ
代表取締役 藤井 哲郎氏

さらなる製品開発と、個別大量生産への挑戦

当社では平成18年よりサイズオーダー家具「すきまくん」の企画製造販売を初め、いまでは当社売上の多くを担う主力製品となっています。その後も東急ハンズ三宮店に特設売場を設けたり、工場移転をするなど発展を重ねてきました。これからは日本の住宅に合う、システム家具の要素と日本らしさを残した弊社にしかできない収納家具とは何かを、当社なりに考えていきます。その一つの答えとして、需要にこだわらず家庭内で使う収納家具をフルラインナップで揃えていくという取り組みを行っています。これからは顧客の声をさまざまな場所で伺いながら、個別対応×1個づくり×大量生産のものづくりにチャレンジしていきたいと思っています。